

【様式1】

令和5年度 授業改善推進プラン

東久留米市立本村小学校 第1学年

教科	学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析 (数値等で具体的に示す)	具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・促音・長音・拗音などの表記を正確に書けていない児童が20%程度いる。 ・音読をする際、読み飛ばしや読み間違いのある児童が30%以上いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語タイムや宿題で繰り返し練習をし、丁寧に書いたり、形を捉えたりできるようにする。文字探しやクロスワードなど、楽しみながら文字に触れる機会を増やし、90%以上の児童がひらがなを習得できるようにする。 ・文章を指で押さえながら、範読を聞いたり、音読をしたりさせ、児童の90%に読み間違いがないようにする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・文章題を解く際、足し算と引き算を混同している児童が30%程度いる。 ・10の数の構成理解が難しく、10までの足し算・引き算がスムーズにできていない児童が20%以上いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の中の「あわせて」や「のこりは」など、和を求めるのか差を求めるのか分かる言葉を意識させ、立式する。自分の考えを表す場面で、図を描いてイメージを深めて立式する習慣を付けさせ、90%以上達成できるようにする。 ・計算カードを使い、数に親しむ経験を積ませる。視覚的に数を捉えられるように、半具体物を操作する活動を意識的に取り入れる。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・体験したことや、観察して気付いたことを表現することに課題がある児童が30%程度いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他教科との連携を図り、技能を高めながら表現活動に慣れさせ、表現することの楽しさを味わわせ、80%以上の児童が楽しんで表現できるようにする。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・善悪の判断など、基本的な考え方に個人差が見られる。 ・教材文が理解に課題が見られ、自分の考えが書けていない児童が60%程度いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入において、知識の補足を行い、どの児童も発問に正対して考えることができるようにする。 ・ロールプレイや役割演技等を取り入れることで、理解しやすくし、70%以上が教材文を理解し、道徳的価値について書けるようにする。